

令和2年度版 改善計画

学校名：山梨県立甲府工業高等学校 定時制

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	定例会議、委員会など必要な会議が実施され、ほとんどの会議が1時間以内で終了している。会議の精選と回数削減が課題である。	すべての会議が1時間以内で終了するとともに、会議内容を検討し、精選と回数削減が行われている。	① 会議開始時に終了予定時間を明示し、会議運営を図る。 分掌内で事前打ち合わせを行い、論点整理を行う。 ② 各種会議の必要性、回数などの検討を行う。	
2	学校行事の負担軽減	定時制の限られた時間の中で諸行事を行っている。前例にとらわれず、学校の実態に応じた内容の検討を行う必要がある。	実態に応じた行事の企画・運営が各担当で行われ、目標に応じた効果的な行事が行われている。	① キャリア教育の観点から学校行事の目標を明確にし、その観点から学校行事の精選を図る。 ② 学校行事についての取り組みを、遅くとも2ヶ月前から開始し、ゆとりを持った企画運営をおこなう。	
3	校内組織の見直し	昨年度までの10分掌を4分掌に再編した。兼務負担を均等化と全職員の協力体制を構築することが課題。	分掌の業務内容が適切であり、部内でそれぞれの業務が関連付けられ、企画・実行されている。	① 分掌再編による弊害を洗い出し、業務内容の振り分けを適宜変更する。 ② 新分掌の業務内容について検討する。	
4	業務の効率化	会議の時間短縮、分掌業務のスリム化、Web教務システムの一部活用、ICT活用などを推進している。各種業務の年間を通じた流れを系統的に明確化する。	現状の業務効率化の動きが進み、より業務の効率化が図られている。	① 各担当の業務について年間スケジュールと業務ごとのスケジュールを作成する。 ② スケジュールにのっとり効率的に業務が遂行されている。	
5	部活動の負担軽減	活動曜日を決め平日は1時間以内、土日は原則休養日、顧問の複数配置を実施している。きずなの日を設定しているが、達成率は約7割程度となっている。	現状のとおり実施日を決め、短時間で内容の濃い活動とする。月2回のきずなの日の設定と達成率100%を達成する。	① 翌月の行事予定確認時にきずなの日にむけての計画を立てるよう指示する。 ② 兼部等の部活動のあり方に関する検討を行う。	
6	地域人材の活用	各学科で地域の名工による実習と講演を実施。現状の課題を明らかにし改善点を探る。	課題を改善し、外部講師の実習・講演が今年度以上の効果を上げる。	① 現状の地域人材活用事業について、それぞれの課題・改善点を探る。 ② 来年度に向け、課題改善の検討を行う。	
7	生徒・保護者対応 (学校独自の項目)	個別に複雑・繊細な対応が必要なため、担任を中心に教職員の精神的疲労度が非常に高い。生徒・保護者対応での精神的疲労軽減が課題である。	教職員の精神的疲労感が緩和されている。	① タイムリーに打合せを行い、管理職および関係分掌との情報の共有と対応の検討を行い、学校全体で年次・担任へのバックアップ、フォローを行う。 ② 今年度の実施内容・体制をチェックし、課題を探り来年度の体制を検討する。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。